

広報広聴常任委員会会議録

- 1 日 時 平成31年3月19日(火)
13時00分開会 13時51分閉会
- 2 会議場所 役場3階第1委員会室
- 3 出席議員 委員長：佐藤幸一 副委員長：深沼達生
委員：川上 均、山下清美、中河つる子、中島里司
議長：加来良明
- 4 事務局 事務局長：佐藤秀美、係長：宇都宮学、主任：鶴田瑞恵
- 5 説明員 なし
- 6 議 件

(1) 議会だより第157号の発行について
(2) その他
- 7 会議録 別紙のとおり

委員長(佐藤幸一):いろいろな会議の終了後大変お疲れのことと思うが、広報広聴常任委員会を開催する。

(1) 議会だより第157号の発行について

委員長:議会だより第157号の発行について、皆様の意見をいただきながら進めていきたい。皆様方の忌憚のない発言をいただきたいと思うのでよろしく願います。表紙の写真・町民の声・一般質問の担当委員一覧、栗山町の議会だより一般質問、似顔絵資料を配付している。議会だより掲載用質問要旨・答弁書は担当委員へ配付している。

・表紙の写真について

委員長:表紙の写真の担当は川上委員だが、どのような写真を撮影するのか協議をしたい。前広報広聴常任委員会では、子どもの写真を掲載して、親世代に読んでもらえるようにしてはという意見があった。これについて皆さんの意見をいただきたい。

川上委員:自分で考えたのは、子どもの写真を撮るのであれば、保育所や幼稚園の入所の際に写真を撮らせていただくと考えている。

委員長:子どもの写真が入れば読んでもらえるような気がするがどうか。

深沼委員:とてもよいと思う。前回の委員会で話し合ったときにはテーマを設けてやっただけではないかという話があったと思う。今回1年間子どもたちの行事というか、子どもを中心に表紙を作ってはと思う。

委員長:昨年視察に行った栗山町や仁木町でもそうであったが、子どもの写真が出れば読んでいただけることを聞いたので、子どもの写真を掲載するというのでよろしいか。

(よろしいの声あり)

委員長:シーズンの際は入園式・入学式か。

中島委員:子どもメインというのは前から出ていたこと。子どもを軸にということは委員会で共有し、あとは担当者がその状況を考えて取り組むということでは、あとは的を絞れたら、町広報とすり合わせをさせていただかないようにしてはどうか。

委員長:入園式・入学式等いろいろな行事があるがどうするか。

中島委員:この委員会でそこまで絞らなくても、子どもメインということで、私が申し上げたのは、担当者が、同じ号の町広報とだぶらないような配慮をしていけばいいのではないかと。この部分を毎回委員会で決めなくても担当者が当分の間カメラを持って町内を回りながら見つけることであってがちにしながらもよい。子どもをメインにしたものとしておいて、時節柄に合わせて担当者が意識して撮ってくるという考え方でいいかと思う。

委員長:子どもをメインに担当に任ずという意見があった。それでよろしいと思うがいかがか。

(よろしいの声あり)

委員長:そのように進める。

・メインとなる記事について

委員長:次に、メインとなる記事・写真を何にするか協議したい。平成31年度予算をメインにするなら、具体的にどの予算にするのかを決定したいが、どのような記事をメインとするか。予算に関する資料2に新規事業等が掲載されているが、それを参考にメインとなる記事を作ってはどうかと事務局からアドバイスをいただいたが、意見をいただきたい。事務局で補足する事項があればお願いしたい。

鶴田主任:新規事業がいくつかあったと思うが、その中で疑問が多くあったものをいくつかピックアップして、質疑と答弁がどんなことがあったのかというようなことを載せてはどうかと思う。トップの記事を今ここで何にするか、一番のメインはどの事業だったのかということを決めていただければ良いと思うが、今すぐ決めるのも難しいような気がする。

中島委員：全部が全部状況が変わって新たな広報紙の発行ということで取り組んでいるが、急に全部が全部この委員会では協議して方向性を示してから事務局に協力を求めることができればよいと思うが、現実問題としては厳しいのではないかな。まずはその辺の原稿的なものは新たな広報紙を意識しながら事務局に協力を求めてもいいのではないかなと思う。徐々にその辺について慣れたら自分たちで手掛けていく。今ここで意見が言えればよいが、出てこないのであれば事務局に協力を求めていくことになると思う。予算は特に範囲が広いから、もう少し柔軟性を持って考えてもいいのではないかなと思うがどうか。

委員長：中島委員から意見をいただいたが、今回は広報広聴常任委員会で初めて新しい紙面で発行するので、不慣れな点も多々あると思う。慣れている事務局より記事をいただいてそれを参考に作ってはという意見をいただいたが皆さんから意見はあるか。1回目は事務局から力添えをいただき、慣れてから2回目・3回目、自分たちでメインとなる記事・写真を考えていきたいという進め方ではいかがか。

(よろしいの声あり)

委員長：今回は事務局と相談をしながらメインとなる記事を考えていきたい。そういったことでよろしいか。(よろしいの声あり)

委員長：そのように進める。

・町民の声の担当について

委員長：町民の声の担当は委員長であるが、どのような町民を取材するのか皆さんにお諮りする。それと一つのテーマを設けてシリーズ化する方法もあるが、どのようなかたちで進めていったらよいか。

中河委員：4月からごみが広域化になり集め方が変わる。昨日説明会が御影であり200名ぐらい集まった。皆が興味を持っていることだと思う。

委員長：事務局に聞くが、ごみの問題も進めてもよいのか。

佐藤局長：今相談しているのは、議会だよりの中に町民を登場させる場面であるが、ごみについて町民が興味があるのは分かるがどういった人を登場させるのかということをお諮りしている。まったくフリーで担当が町民に対して取材するのか、それとも一定のルールを作ってシリーズ化して行うのかということをお諮りしている。

委員長：テーマを設けてシリーズ化する方法もあるが、ごみの問題などシーズンでいろいろな問題が出てくるのでそれについては無理だと思うがいかかがか。ごみの問題もよい気がするがどのようなかたちで行ったらよいか。これは広報しみずの問題なのかなという気もする。

川上委員：ごみの問題もテーマとしてよいのかもかもしれないが、実際に取材するとなったらどういう内容で取材をしたらよいか難しい。既に走り出している問題なので、走り出す前の問題であれば、意見を聞いて参考にできるのだろうが、走り出したあとでは難しいと思った。

鶴田主任：昨年研修に行った仁木町では、幼い子どもがいる親子を取材して、子育て環境はどうか、子育てに関して何か望むことはあるか、町に対して何か望むことはあるか、お子さんに対してメッセージをということで、毎回人は変わるが、同じことをインタビュー形式で質問している例がある。栗山町に関しては、「ひとこと」ということで、どなたか一人ピックアップして普段から感じていることやまちに関してこうしてほしいとか、こういうことを生きがいにしているとか、こういった活動をしているというようなことを投稿してもらっているような事例もある。町によっては1ページを使って、町に移住してきた人に、住んでみてかがか、子育てに関してはどうか、町に望むことはどんなことかということをお諮りした町もある。

委員長：いろいろな町村の参考事例があるが、今回の担当は委員長がやることになっているので、各町のサンプルもいろいろあるので、それを参考に私が進めていきたいと思うのでお任せ願えないか。

佐藤局長：今後も担当の委員に任せるのかについて確認をお願いします。

委員長：今後も担当の方がテーマを作って考えていただきたいが、それについてはどうか。

中島委員：仁木町のほうはテーマを同じにして、質問も同じことでやっている。栗山町のほうは一言ということで、相手の方にフリーで投稿してもらっている。今回は委員長が当番なので委員長にお任せすることになるとテーマではなくなってしまう。テーマを決めれば、これとこれを聞こうと。栗山町でいう「ひとこと」であれば、その人の町に対する思いや活動など、その方の考え方で書いてもらうと。とにかく一斉スタートなので、全て満点と言うわけにはいかないで、その都度お互いに1回2回作れば自然と広報委員という意識が出てくると思う。初めてのことなのでどのように意識を

持って良いかわからないが、町民が興味を持って、最低議会広報を見たいというような広報を目指せば良いのではと思う。見れば読むということになる。あれもこれもと決めなくてはいけないことはいろいろあると思うが、今回私どもにとっては第1号となるものを発行して、その結果を踏まえて工夫しながら変えていく。今回は委員長にお任せということで、事務局からもいろいろ情報もらいながらそういうかたちでお願いできないかと思っている。

中河委員：表紙の写真が子どもを中心としてやるということで、見てもらえる。この委員会で8回発行するが、町民の声で子育て世代の意見も聞きたいし、働いている人の意見も聞きたいし、老人の方にも聞きたい。いろいろな世代が見てもらえるような声を聞けたらいいという気がする。

委員長：貴重な意見をいただいた。1つの号で各年代から聞いたら頁数が多くなるので、各号ごとに聞く年代を変えればいろいろ聞けると思うが、そのことについての意見はあるか。

中島委員：今中河委員が言われたのは、157号の中でいろいろな年代の方から意見を聞くということと言われたのか。

中河委員：今回の号は子育て世代、次号は働く人の声を聞くなどということ。

中島委員：中河委員の発言がそういう意図であることを理解した。変化に富んだというか、多方面から聞くことは大事だと思う。毎回同じようにならないことに配慮することはこの委員会で協議できることではないかなと思う。

委員長：中島委員、中河委員から意見があったように、一つのを委員会で決めて載せていくという声があった。そういったことで進めてもよいか。

(よろしいの声あり)

委員長：そのように進めていく。

・一般質問の要約について

委員長：一般質問の議会日より掲載用質問要旨と答弁書は、それぞれ担当委員に配付している。答弁の要約方法等について、事務局より説明をお願いする。

鶴田主任：お手元に一般質問を要約したものと答弁書をそれぞれの担当委員に配付している。一般質問の要約は450字以内でお願いして作ってもらっている。答弁の要約方法であるが、答弁書に基づいて行っていたかと思うが、一般質問の要約の字数と同じぐらいの字数でと考えている。レイアウトのイメージについては、配付している栗山町の例であるが、2項目であればこのようなイメージを考えているので、参考にしていただければと思う。各議員1人1頁を使うが、写真又はイラストを必ず1枚以上は入れたいと思っているので、答弁を担当する委員においてはどんな写真やイラストを入れたらいいかということも考えてきていただければと思う。初めての取り組みで分からない部分もあるとは思うが、事務局に相談いただければと思う。質問と答弁についてはパソコンでも紙でもよいが、昔使っていた原稿もあるので、必要であれば配付するので申し出いただければと思う。原稿用紙は1枚で234文字、450字だと概ね2枚を使っていたかと思う。

委員長：初めてのことであるので、事務局に相談いただきながら進めていただきたい。

・似顔絵について

委員長：似顔絵について、前回の委員会で業者委託と町職員が描いた見本を配付した。今回は中河委員から情報提供いただいた方が描いた見本を配付している。似顔絵の作成方法を協議して決定したい。似顔絵の予算についてはどうなっているのか。

宇都宮係長：1人10,000円で13名分、130,000円プラス消費税の予算となっている。

委員長：中河委員から情報提供をいただいた方の見本を配付しているがすごく上手だと思うが、どうか。

中島委員：具体的に書いていただき、特徴を捉えていると思う。ただ、ボランティアということにはならないので、少なくとも一定の金額、本人には用紙代などいろいろな道具代や時間に要した費用などその方なりに計算をしていただいて、予算に合えばお願いをしていく。一定の数字を出していただく必要があるのではないかと思う。これだけ絵を描ける方がいれば、この方か、職員の方、いずれにしても業者ではなくて町に直接関係のある方にお願いしたほうがいいと思う。

委員長：前回、業者の方、役場の方、今回の中河委員から情報提供をいただいた方、まず最初に決めたいのはどちらに似顔絵の制作をお願いするか決めたい。中河委員から情報提供を受けた方にお願いをしたいと思うかがか。

山下委員：前回の委員会で、似顔絵について業者に依頼すると結構高額になるので、描ける方がいればお願いするという流れだったと思う。中河委員から紹介いただいた方が職員の方かになると思う。今回中河委員から紹介をいただいた方にいくつか絵を描いてもらって似ているので、中島委員が言われたように、ある程度の金額を提示していただければこの方をお願いしたほうがいいのかという気がする。

中河委員：予算の範囲内で、かかる時間と材料費を言ってくるとそれでいいということになるか。

委員長：値段は聞いたことはあるか。

中河委員：それを職業としたことがないので値段は自分ではつけられないという話であった。

宇都宮係長：予算措置されているのは業者との委託契約という方式で、町民の方をお願いをするのであれば、委託ではなくて謝礼というかたちになる。謝礼金額についてはこれから精査する必要があるが、時間がどれくらいかかるのか、材料代などを聞きながらということになる。精査しないと分からないが、謝礼とする場合、例えばの話だが1人あたり2・3千円ぐらいが妥当なのかとう話もあったが、時間や材料代を聞き取ってからのご相談になるかと思う。

中河委員：職業として行っている方ではないので、今回の似顔絵は普通の紙に書き、炭で塗りつぶしたと言っていた。本人が書きやすい材料で書いてもらって普通の用紙でもよいのか。

鴫田主任：コピー機で読み取って画像として取り込めるので、白い紙であれば大丈夫。

委員長：中河委員から紹介のあった方に似顔絵を描いてもらうことでよろしいか。

(よろしいの声あり)

委員長：そのとおり決定する。

料金については、事務局と相談してもらい参考となるものがあれば参考にしえもらい予算の範囲内で取り決めていただきたいがよろしいか。

(よろしいの声あり)

中河委員：今回お願いする方は御影在住の角田明美さん。

委員長：お願いする。

(2) その他

委員長：その他として、次回の委員会については、前回の委員会のスケジュール案では4月2日となっていたが、都合により4月3日開催したいがよろしいか。

(よいという声あり)

委員長：その他に何かあるか。

中河委員：先ほどのイラストの関係だが、その日までに全員の分をお願いすることになるのか。

鴫田主任：5月15日号に掲載するというのであれば、3回目の会議、4月23日頃までにお願ひできればと思う。

加来議長：まずは今回一般質問した方がそれまでにできていればよい。

鴫田主任：時間的に無理ということであれば、次回の号でも構わないと思う。

加来議長：今回角田さんに決まったので、議会として委員長と事務局で正式にお話をしたほうがよいと思う。

委員長：事務局と調整して正式に依頼を行う。

その他に何かないか。

(なしの声あり)

委員長：長い時間大変ありがとうございました。このように議会だよりの作成を進めていきたいのでご協力をお願いする。これで広報広聴常任委員会を終了する。ご苦労さまでした。

【終了 13:51】